

令和 4年度

事務事業評価表 (令和 3年度 の実績評価)

記入年月日
令和 4 年 4 月 21 日

事務事業名	社団法人いばらき被害者支援センター参画事業					事業区分	新規/継続 単独/補助		継続 単独	事務事業No.	030201000695
政策体系上の位置付け										担当	030301
政策体系	総合計画の施策名	0302 防犯・消費生活対策の推進			所属課	生活環境課		グループ	市民活動・交通安全G		
	政策名	03 安全安心な暮らしのまちづくり				課長名					
	施策名	02 防犯・消費生活対策の推進			担当者名						
	手段名	01 ①防犯意識の向上									
財務会計上の位置付け					事業期間						
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計 防犯対策事業				
	01	02	01	14	01	00	単年度繰返し (平成18年度~)				
法令根拠	犯罪被害者基本法										
【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)											

(1) 事務事業の概要												
手段	①事務事業の概要 (事務事業の全体像)						②担当者が行う業務の内容・やり方・手順					
	市民が安心して安全に過ごせるまちづくりのため、犯罪被害に遭われた方々をケアする「公益社団法人いばらき被害者支援センター」へ賛助金による支援を行う。						いばらき被害者支援センターへ賛助金を納付する。					

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移											
①手段 (担当者の活動内容)		④活動指標 (活動量を表す指標)			単位	02年度 (実績)	03年度 (実績)	04年度 (計画)	05年度 (目標)	06年度 (目標)	
賛助金の納付		会議・研修会出席回数			回	0.00	1.00	1.00	1.00	1.00	
						0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
						0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
						0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
②対象 (誰、何を対象にしているのか)		⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)			単位	02年度 (実績)	03年度 (実績)	04年度 (計画)	05年度 (目標)	06年度 (目標)	
市民		人口			人	39,122.00	38,422.00	37,852.00	37,282.00	36,712.00	
						0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
						0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)		⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)			単位	02年度 (実績)	03年度 (実績)	04年度 (計画)	05年度 (目標)	06年度 (目標)	
市民が被害者になった時、安心して相談できるような場を提供する。		賛助金			千円	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00	
						0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
						0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

(3) 投入量 (事業費) の推移					02年度 (実績)	03年度 (実績)	04年度 (計画)	05年度 (目標)	06年度 (目標)	期間限定 総投入量
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0			
			県支出金	千円	0	0	0			
			地方債	千円	0	0	0			
			使用料・手数料	千円	0	0	0			
			その他	千円	0	0	0			
			一般財源	千円	40	40	40			
			事業費計 (A)	千円	40	40	40			
			正規職員従事人数	人	4.00人	4.00人	4.00人			

事業費の内訳	03年度事業費 実績 (千円)				04年度事業費 予算 (千円)			
	18 負担金補助及び交付金	40						
			合計	40				合計

事務事業名	社団法人いばらき被害者支援センター参画事業	事務事業No.	30201000695	所属課	生活環境課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
平成19年度から、犯罪被害者を支援する「いばらき被害者支援センター」が財政難となり、県及び市町村から財政的支援をすることになった。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
市としても犯罪被害者を支援するため、「いばらき被害者支援センター」へ支援することが必要である。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 犯罪等被害に遭われた方の心のケアを行うことは総合計画の「安全安心な暮らしのまちづくり」に結びつく。
有効性	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 茨城県公安委員会から指定された公共的な団体である犯罪被害者等早期援助団体を支援することは、公共関与で妥当である。
効率性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 人口一人当たり1円の援助が目標となっており、妥当な賛助金である。
公平性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 賛助金を廃止して「いばらき被害者支援センター」が財政難で活動停止となれば、被害者の支援を行う団体が少なくなる恐れがある。
公平性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合)
	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 類似する事業はないことから連携は難しい。
公平性	⑥事業費・人件費の削除余地 (成果を下げずに事業費を削除できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 最低限の賛助金を納付しているので、これ以上の削減はできない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 誰もが被害者または被害者の遺族になった場合、支援を受けられるため、公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																		
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	犯罪被害に遭われた方々をケアする「公益社団法人いばらき被害者支援センター」へ賛助金による支援を行う事業であり、今後も継続して支援をする必要がある。																		
③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																			
(3) 今後の事業の方向性																				
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																				
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																		
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th>向上維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上維持		○	×	低下	×	×	×
		コスト																		
		削減	維持	増加																
成果	向上維持		○	×																
	低下	×	×	×																
		(6) 事務事業優先度評価結果																		
		成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 9																		

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>